

たがね

はな

特別展

斬金の華

— 光村コレクションの刀装具 —

Special Exhibition Pinnacle of Elegance : Sword Fittings of the Mitsumura Collection



①



②

平成30年
(2018年)

1月27日(土)～3月18日(日) (火曜日休館)

【開館時間】午前9時30分～午後5時(会期中の金曜日は午後8時まで) ※入館は閉館の30分前まで

【観覧料】【特別展のみ】大人 1,200(1,080)円、高校生・大学生 800(720)円

【常設展との共通券】大人 1,680(1,620)円、高校生・大学生 1,120(1,080)円

※()内は20名以上の団体割引料金 ※中学生以下、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

※本展は大阪市内在住の65歳以上の方も大人料金が必要です。なお、常設展示は無料です(要証明証提示)

【主催】大阪歴史博物館、産経新聞社、文化庁
【後援】サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、ラジオ大阪、関西テレビ放送

【会場】大阪歴史博物館 6階 特別展示室
【アクセス】地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・⑨号出口
大阪市営バス「馬場町」バス停前



大阪歴史博物館

Osaka Museum of History

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32

TEL 06-6946-5728 FAX 06-6946-2662

http://www.mus-his.city.osaka.jp/



文化庁

①(招福狸目貫)(部分) 藪常代作 根津美術館蔵 ②(鍾馗鬼図大小鐺) 松尾月山作 根津美術館蔵



《諫鼓図鐙》(部分) 菊川南甫作
根津美術館蔵

刀装具とは刀剣外装(拵)の金具です。江戸時代以降に装飾性が増し、金属とは思えないほどの
きらびやかで細密な作品が作られました。

大阪生まれの実業家・光村利藻(1877~1955)はそうした刀剣・刀装具の技術に魅せられて3000点
以上にのぼる一大コレクションを築き、刀装具の名品を集めた図録『藍麴花』を刊行します。

その後コレクションは明治42年(1909)に光村の手を離れ、一括して初代根津嘉一郎(1860~
1940)の蔵するところとなりました。現在も根津美術館には約1200点が伝わり、依然として我が国最
大級の刀装具コレクションとなっています。

今回の展覧会では、根津美術館所蔵の光村コレクションの作品を中心に、光村利藻の足跡と彼が魅せ
られた美の世界を、刀剣や絵画資料も交えた約200件の作品で紹介します。

注文製作の月山刀!

大坂の絵描きの作も!



《西王母図小柄》
墨江武禪作 根津美術館蔵



《鳳凰麒麟図大小縁頭》(大の頭)
今井永武作 根津美術館蔵



《一の谷合戦図縁頭》(大の頭)
綾小路永華作 根津美術館蔵

彫技の競演



《許由巢父図縁頭》(頭)
大月光弘作 根津美術館蔵



40年ぶり、名品大公開

重要文化財 《聖衆来迎図大小揃金具》 後藤一乗作 個人蔵



《刀》(表裏) 初代月山貞一作
根津美術館蔵

関連行事

◆ 講演会「光村利藻が残したもの —美術品としての刀装具“発見”」

【日 時】平成30年2月11日(日・祝) 午後2時~3時30分
(受付は午後1時30分から)

【講 師】内藤直子(当館学芸員)

【会 場】大阪歴史博物館 4階 講堂

【参加費】300円(特別展の観覧券もしくは半券提示の方は無料)

【参加方法】当日直接会場へお越しください。(先着順・定員250名)

◆ ギャラリートーク

【日 時】平成30年2月23日(金)
午後6時30分から(約1時間)

【担 当】内藤直子(当館学芸員)

【会 場】大阪歴史博物館 6階 特別展示室

【参加費】無料

(ただし入場には特別展の観覧券が必要)

【参加方法】当日直接会場へお越しください。



電車・バスでお越しの方

地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②号・⑨号出口
大阪市営バス「馬場町」バス停前



大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32
TEL 06-6946-5728 FAX 06-6946-2662
http://www.mus-his.city.osaka.jp/